

とやま

県広報

Contents

- 特集①
循環型社会と低炭素社会づくりの推進
- 特集②
富山県ふるさとの歌
- 県政Q&A ●県政の動き ●県政クイズ
- 元気レシピ「トマトと牛肉のスパイシー炒め」
- 岐阜に行ってみよう!
- おでかけ情報

No.450
2012 8 August
平成24年8月5日発行
富山県
富山県知事政策局広報課



美しく雄大な立山で、 その魅力を伝え続ける。 四代目平蔵。

佐伯知彦さん(立山町)



今年、国内初の氷河の認定や重要な湿地を保全するラムサール条約への登録など、世界中から注目を集める立山連峰。故郷への誇りを胸に、その魅力を人々に伝えたいのが立山自然保護センターで勤務する佐伯知彦さん。2010年、立山町芦峰寺から18年ぶりに誕生した若手山岳ガイドです。

佐伯さんの曾祖父は、立山ガイドの礎を築いた「初代・平蔵」。佐伯家は平蔵の名と共に、代々山岳ガイドに携わってきました。ところが、佐伯さんは小さい頃、スキーの過酷なトレーニングが苦痛で、「山が大嫌い」に。高校卒業後は、海に仕事を求めてマリン用品店に勤務しました。

転機は23歳の時。冬場の仕事を探していた際、友人の勧めで、スキーのインストラクターに。久しぶりの立山で「やっと素直になれた」と佐伯さん。身近にあった大自然の素晴らしさに感動しました。剣岳に曾祖父の名が付いた平蔵谷

があることを知ったのもその頃。「立山の魅力を多くの人に伝えたい」という思いが強くなり、働きながら登山ガイドの資格を取りました。

「立山の信仰や歴史、伝承をわかりやすく伝えたい」と作り始めた「立山曼荼羅」の現代版が、今年6月に完成しました。ラムサール条約に登録された弥陀ヶ原や、弘法大師が念仏を唱えた際、湧き水が出たとされる「弘法の清水」の伝説など、これまでの立山曼荼羅にはない独自の立山観が描かれています。

「立山は癒しの空間。大自然から力をもらい心身ともにリフレッシュできる。歴史や伝統などが持つ魅力も伝え、自分なりの立山ガイドを目指したい」と佐伯さん。平蔵の名を受け継いだ四代目は、ガイドとしてさらなる高みに挑みます。



富山大学院生の多智さんと共同制作した立山曼荼羅の現代版

Q 今年、世界的に高い評価を得ている立山連峰。その魅力を活かした県の観光振興の取組みについて、お聞かせください。

A 立山は本県が誇る国内有数の観光地です。この度、日本最高所となる「ラムサール条約湿地」に登録された立山弥陀ヶ原・大日平と、日本唯一の「氷河」という神秘的な魅力が新たに2つも加わりました。県では、こうした強みを活かして、立山で登山やトレッキングを楽しんだ後に、県内で観光を楽しみ、宿泊滞在してもらえよう、山ガールを切り口としたPRに取り組んでいます。

この夏には、室堂のとやま観光案内所で山ガールガイドによる弥陀ヶ原散策ツアーを実施します。そのほか、氷河や湿地を楽しむ各種ガイドツアー等の企画も進めています。

約2年半後に迫った新幹線開業に向け、観光客の受入態勢整備が急務です。立山の魅力を活かし、まず、富山を旅行先に選び、来ていただいた方に広く県内で楽しんでもらえるよう、地元の方々とともに連携し、受入態勢の整備に取り組みます。

県政Q&A
県政に関するご質問に
知事が答えます!!

皆様のご意見をお待ちしています。
「元気とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで

●はがき・手紙 〒930-8501 県庁広報課
●FAX 076-444-3478
●インターネット <http://www.pref.toyama.jp/tiji-form.html>

目安箱

この件のお問合せは **県観光課 ☎076-444-4498**
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1401/

特集 1 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

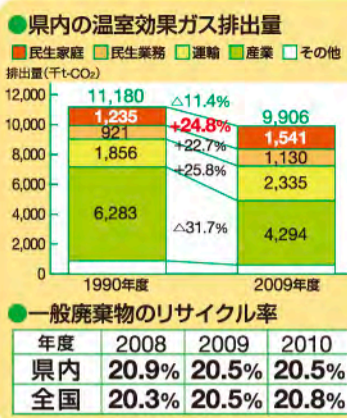
未来へ新しい一歩を！ 今こそエコライフ！

地球温暖化やごみ問題、東日本大震災の影響によるエネルギー問題など、環境を取り巻く問題は私たちの生活と密着しているものばかりです。県では、こうした問題に対応するため、一人ひとりが省エネや節電に取り組みエコライフの推進や、再生可能エネルギーの導入など、環境・エネルギー先端県を目指し、さまざまな取組みを進めています。

環境問題の現状



県内の2009年度の温室効果ガス排出量は、とやま温暖化ストップ計画の基準年度（1990年度）と比べて約11%減少していますが、家庭からの排出量は、約25%増加しています。また、一般廃棄物のリサイクル率も



伸び悩んでいます。全国的には東日本大震災の影響を受け、各地で夏季の節電が要請されるなど、今、私たち一人ひとりが日々の暮らしを見直し、行動することが求められています。

小さな一歩が未来につながる



県では、こうした問題に対応するため、「食」や「節電」をテーマに、県民総参加でエコライフを実践する取り組みを進めています。エコライフとは、日常生活の中でごみや二酸化炭素を極力排出しないライフスタイルのこと。皆さんの小さな一歩が大きな



成果につながります。未来の環境を守るためにも、気軽に参加してみませんか。

環境・エネルギー 先端県をめざして

こうした家庭でのエコライフ実践の取組みのほか、使用済小型家電等のリサイクルや、本県の地域特性を活かした小水力発電・太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入などにも取り組んでいます。今後も、環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」を目指し、県民の皆さんと力を合わせて、循環型社会と低炭素社会づくりを推進していきます。

エコライフ実践のための主な取組み

とやまエコ・クッキング

環境に配慮して買い物、料理、片付けに取り組む「エコ・クッキング」。県では、料理教室の開催やレシピの情報提供を行っています。楽しみながら、ごみの減量や省エネに取り組まいませんか。

楽しみながら参加しよう!

エコクッキング料理教室

詳しくは [とやまエコ・クッキング](#) 検索

*エコ・クッキングは、東京ガス(株)の登録商標です。

とやまメガ節電所プロジェクト

多くの県民や事業者の皆さんが節電行動を登録することで、Webサイト上に**仮想のメガ節電所**が稼働します。今年の夏は、楽しく節電し、みんなの力でメガ節電所を建設しましょう!

参加者募集中

節電の取組み(例)

- ・エアコンの室温は28℃に
- ・白熱電球をLED電球に交換
- ・冷蔵庫に食品を詰め込みすぎない
- ・省エネ家電に買い替え 等

登録方法

Webサイトから登録(郵送やFAX等でも登録可能)

節電効果の集計結果は、「節電所」の建設・稼働状況としてWebサイト上に動画で表示

優れた節電効果を上げたご家庭には、県産品ギフトカード(5,000円分)等をプレゼント!

詳しくは [とやまメガ節電所プロジェクト](#) 検索

再生可能エネルギーの導入に向けた主な取組み

● 小水力発電の導入促進

- 全国第2位の包蔵水力(発電に利用可能な水力エネルギー量)を活用した小水力発電の導入
- 技術開発や販路開拓の支援による、民間事業者の小水力分野への参入促進



農業用水を利用した小水力(白中発電所)

● 太陽光発電の導入促進

- 恵まれた住環境を活かした住宅用太陽光発電システムの導入促進や、公共施設における率先的な導入
- メガソーラーの導入に向けた適地調査や民間事業者による発電所設置の推進



中央病院新東病棟 太陽光発電

Interview

主婦の簡単エコライフ!

富山県地球温暖化防止活動推進員 中島 晴美さん(高岡市)



こどもエコクラブ(幼児から高校生が参加する環境活動クラブ)での環境保全活動をきっかけに、平成16年度より地球温暖化防止活動推進員として、小学校での地球温暖化に関する授業、幼稚園での絵本・緑のカーテン作りを通じたエコライフ教室、家庭の省エネ診断と対策提案を行う「うちエコ診断」を行っています。

私自身の家庭では、主婦の簡単エコライフとして、緑のカーテン(花と涼と食を楽しみ

夏を満喫)、入浴ですっきり(朝から浴槽に水張りをして夕方まで自然加温、残り湯は草花の水やりに活用)、夏は冷麺!(茹で汁で食器の洗浄、洗剤いらす)、丸ごとスイカ(白い部分を塩漬けにして、ラー油風味で1品追加)などを楽しみながら実践しています。

また、今年の5月には、呉西地区で環境問題を考える会として「環の会」を立ち上げ、楽しく情報交換を行っています。皆さんも、楽しみながらエコライフを実践しませんか。

このページの
お問合せは

県環境政策課 ☎076-444-3141
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1705/

特集 2 富山県ふるさとの歌

ふるさとへの誇りを胸に、みんなで歌おう！ 「ふるさとの空」

富山県ふるさとの歌づくり実行委員会では、県民や県出身者がふるさとを想い、ふるさとへの誇りや愛着を育み、子どもから大人まで愛唱できる「ふるさと富山をテーマとした歌」の制作を進めてきましたが、この度、題名「ふるさとの空」として完成しました。

ふるさとの空

原詞：布村勝志 補作詞：須藤 晃 作曲：久石 譲

- 一 耳を澄ませたなら 川の清き音
かたかこの花が 朝の里を飾る
春には 春の歌 千本桜の町
ああ 光のなか そこにふるさとがある
- 二 茜色の夕暮れ 立山の姿
風に舞うおわら 歌い踊り願う
夏には 夏の歌 七色の花火たち
ああ青き海よ そこにふるさとがある
- 三 黄金色の稲穂 星が降りそそいでる
五箇山こきりこが
デデレコデン聞こえてきて
雪降る海原 心のたき火燃え
秋には秋の歌声 冬には冬の歌が
- 四 はるか道の彼方 夢を描いてた
あの頃の笑顔 忘れられない日々
我には 我の歌
あたたかき高志(越)の国
ああ また帰るよ いつかふるさとの空

県政の動き



2012 6 ▶ 7

最近の動き

- 6 9 タウンミーティング～新総合計画～(砺波市)
県原子力防災訓練(県庁、氷見市、高岡市)
- 10 タウンミーティング～新総合計画～(魚津市)
- 13 県議会定例会(～27日)
- 27 県食育推進会議
- 7 6 高志の国文学館開館式典
「ふるさとの空」発表会
- 9 伏木富山港日本海側拠点港推進協議会
- 10 富山県・岐阜県知事懇談会
- 13 新幹線戦略とやま県民会議「新川地域会議」
- 24 富山県並行在来線準備株式会社の設立
- 25 新幹線戦略とやま県民会議「県西部地域会議」
- 28 2012北信越かがやき総体(～8/7 岩瀬スポーツ公園ほか)
- 31 とやま世界こども舞台芸術祭2012
(～8/5 オーバード・ホール、県高岡文化ホールほか)

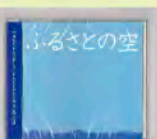
今後の予定

- 8 8 全国高総文祭とやま2012(～12日 県内15市町村)
- 10 新幹線戦略とやま県民会議「富山地域会議」
- 11 環水公園「夏まつり」(富岩運河環水公園)
- 24 SCOT Summer Season 2012(～9/2 利賀芸術公園)

??? 県政クイズ ???

○の中に言葉を入れてください。
ふるさと富山をテーマにした
歌の題名は、「ふるさとの○」です。
(ヒントはこのページにあります。)

正解者の中から「ふるさとの空」
のCD(富山県民の歌も収録)
を10名の方に、
富山県推奨とやまブランド
認定品の「大門素麺(一袋)」
を10名の方にプレゼントします。



はがきにクイズの答え、ご希望の商品名、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
宛先 ●〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課
「県広報とやま8月号クイズ係」
締切 ●8月20日(月)(必着)

Moderato (♩=81)

Poco Più mosso (♩=83)

a Tempo (♩=82ca.)

Message



©Kazumi Kurigami

作曲家 久石 譲さん

長く歌い継いでもらえる曲をと思い作曲しました。富山県には四季折々に魅せる日本の美しい自然と文化が維持されています。県民の皆様にはそれを誇りに、この歌とともに歌い継ぎ、継承し、大切にしていいただければと思います。

●下記のホームページから曲を聴くことができます。
<http://www.doyukai.org/furusato/>

ふるさとの空

検索

このページのお問合せは

県知事政策局(特定重要政策担当) ☎076-444-4493
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1002/

スマートフォンや携帯の方はこちらから!



県内おでかけ情報

※入料金の()内は20名以上の団体料金

高志の国文学館

●開催中～10月14日(日)まで
開館記念展

「大伴家持と越中万葉
—風土とこだまする家持の心—」

入一般500円(400円)、大学生400円(320円)、
小中高生無料

立山や奈呉の浦など、雄大で美しくかつ厳しくもある越中国の風土や人々の暮らしが、家持の詩心にどのように映り、歌人としてどのように成長させたのか。絵や写真、アニメなどを交えて多角的に読み解いていきます。



アニメ「マイの越中万葉体験記」

※10月14日(日)まで開館時間を延長
金・土曜日 20:00まで / その他 18:30まで

富山市舟橋南町2-22 TEL 076-431-5492
開館 ●9:30～17:00(入場は16:30まで) 研修室は
21:00まで 休館 ●火曜(祝日は開館)、祝日の翌日
観覧料 ●入館展示 一般200円(160円)、大学生
160円(100円)、小中高生無料 交通 ●富山駅から
徒歩15分 / 市内電車「県庁前」下車、徒歩4分
<http://www.koshibun.jp/>

県水墨美術館

●8月10日(金)～9月23日(日)まで

「いのちの煌めき
—田淵俊夫展 あくなき日本画への挑戦—」

入一般700円(550円)、大学生500円(380円)、
小中高生無料

院展で活躍する日本画家・田淵俊夫は、常に自然と対峙し、その感動を契機として、斬新な絵画世界を確立しました。これまでの代表作に、10mもある水墨画の大型最新作を加え、高い芸術性にあふれる田淵芸術の本質にせまります。



田淵俊夫「流転」1983年成川美術館蔵

富山市五福777 TEL 076-431-3719
開館 ●9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館 ●月曜(祝日は開館)、祝日の翌日
交通 ●富山駅(CiC横)から富山ミュージアム
バス(呉羽山ルート)で約6分(無料) / 市内電車
大学前行「新富山」下車、徒歩約10分
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>

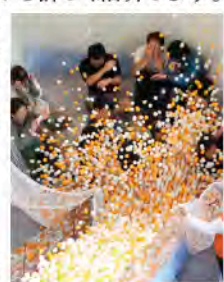
立山カルデラ砂防博物館

●開催中～9月24日(月)まで

企画展「氷河と万年雪」

企画展:無料 常設展:一般400円(320円)、
大学生320円(200円)、小中高生無料

立山連峰の万年雪の中に、現在も活動している氷河の存在が認められました。日本で唯一の氷河を、ヒマラヤや南極等の世界の氷河と比較しながら詳しく紹介します。また、期間中には1万個のピンポン球を使った実験で雪崩を体感することができます。



1万個のピンポン球を使った雪崩実験

立山町芦峯寺字ブナ坂68 TEL 076-481-1160
開館 ●9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館 ●月曜(祝日は開館)、祝日の翌日
交通 ●富山地方鉄道立山線立山駅から徒歩
2分、北陸自動車道立山ICから車で40分
<http://www.tatecal.or.jp/>

県中央植物園

●開催中～8月29日(水)

「森のクラフト」

親子で木の実を使った工作が体験できます。
マツボックリなどで作った恐竜



●8月17日(金)～19日(日) 午前・午後
「オオニバスに乗ってみよう」

世界最大の葉をもつ「オオニバス」に乗る体験イベントです。
対象 / 5歳～小学生(体重30kg以下)・各日午前午後とも先着100名



●8月31日(金)～11月21日(水)まで
特別展「富山県の絶滅危惧植物」
県内で絶滅のおそれがある植物を紹介します。

「植物ガイド」毎週日曜日 13:30～14:30

富山市婦中町上樹田42 TEL 076-466-4187
開園 ●9:00～17:00(入園は16:30まで)
休園 ●木曜(祝日は開園) 入園料 ●入一般・大学生
500円(400円)、小中高生無料 交通 ●富山駅
から地鉄バスで「中央植物園口」下車、徒歩10分
<http://www.bgtyrm.org/>

とやま発! 元気レシピ

トマトと牛肉の
スパイシー炒め

cooking
POINT

- 牛肉に★を加えて混ぜた後、5分ほど寝かすと、よみ味が馴染む。
- ピーマンなど緑色の夏野菜を加えると、より彩り豊かに。
- 牛肉の代わりに、豚の薄切り肉でもOK。

作り方

- ①牛肉に、★を加えて混ぜる。
- ②玉ねぎは粗みじんに、ニンニクは細かくみじん切りにする。
- ③トマトはヘタを除き、8等分のくし形切りにする。
- ④フライパンにオリーブオイルを熱して、①の両面を焼き、②を加えて炒める。
- ⑤③を加え、角が少し崩れるくらいまで炒め、ウスターソースを加えて炒め合わせる。

材料・分量(4人分)

- 【トマトと牛肉のスパイシー炒め】……………
- ・トマト(中2個(360g))
 - ・牛モモ薄切り肉(200g)
 - ・玉ねぎ(小1/2個(40g))
 - ・にんにく(1かけ)
 - ・オリーブオイル(大さじ1/2)
 - ・ウスターソース(大さじ1)
 - 【★】……………
 - ・塩・コショウ(少々) ・カレー粉(小さじ1/2)



1人分 約173kcal

旬のトマトと新玉ねぎを使った、夏バテ防止のスタミナ料理です。トマトの酸味やカレー粉のスパイスで食欲を増進させ、ニンニクの方でスタミナもアップ。暑い夏を元気に乗り切れます。また誰でも簡単、手軽に作れるのも魅力。親子で一緒にチャレンジしたら、夏休みの楽しい思い出にもなりそうですね。

協力 ●魚津市食生活改善推進協議会

岐阜県に行ってみよう!

岐阜県観光課
TEL 058-272-8393

本県と岐阜県とは、東海北陸自動車道が全線開通した7月5日を「富山・岐阜交流の日」と定め、さまざまな分野での交流を進めています。皆さんも近くなった岐阜県に出かけてみませんか。



長良川鵜飼(岐阜市)・小瀬鵜飼(関市)



岐阜の歴史と文化を象徴する夏の風物詩。漆黒の闇の中、赤々と燃える篝火を川面に灯しながら、鵜匠が鵜と一体となって鮎を追う光景は、見る人を幽玄の世界へ誘います。

郡上おどり(郡上市)



日本三大民謡のひとつである郡上おどりは、どなたでも地元の方と同じ輪に入って、踊ることができます。8月13～16日の一晩中踊り明かす徹夜おどりが最大の見せ場です。

岐阜県内高速道路 定額乗り放題! 「清流の国 ぎふ旅キャンペーン」実施中!

岐阜県内の高速道路が乗り放題となるプラン(ETC装備車限定、10月末まで)などがあります。詳しくはホームページで。▶ <http://www.kankou-gifu.jp/drive>

お得な
クーポン
付!

「県広報とやま」に関する
ご連絡、ご質問は

〒930-8501(住所記入不要) 県庁広報課まで TEL:076-444-3134 FAX:076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください ▶ <http://www.pref.toyama.jp/form.html>
広報課ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込みによる各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、広報課のホームページで閲覧できます。

モバイル県庁

携帯電話から県の
情報を閲覧できます。
(右のQRコードから)

